

- ◆ まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015改訂版)では、**地域における金融機能の高度化のため、民間金融機関と政府系金融機関との協働・連携を促進するための政府の支援体制の整備を進めること**とされている。また、日本再興戦略2016(平成28年6月2日閣議決定)において、民間金融機関による農業融資が活性化するよう、民間金融機関と政府系金融機関の連携を強化し、農業融資のノウハウ提供等を進めることとされている。
- ◆ これを受け、現在、財務局では、地方創生支援を重要なテーマとして取り組んでいるところであり、農業分野における融資は地域の活性化を推し進める重要な役割を果すものと考え、**農林水産省と連携のうえ、日本政策金融公庫(農林水産事業)における農業融資や経営支援に関するノウハウ等を民間金融機関と共有することを目的に「農業融資セミナー」を管内4か所で開催。**

1. 成果事例の概要等

当局では、日本政策金融公庫をはじめとする政策金融機関と民間金融機関との協働・連携の推進や、地方創生に向けた地域の関係者とのノウハウの共有などに取り組んでいるところでもあり、「農業融資セミナー」の開催はこの一環との位置づけ。

(1) 開催地の決定

農林水産省及び日本政策金融公庫と連携のうえ、当局管内における開催地(平成28年度第4/四半期)として、本局所在地の埼玉県のほか、農業産出額が全国上位の茨城県(2位)、千葉県(3位)、栃木県(8位)の4県を選定。

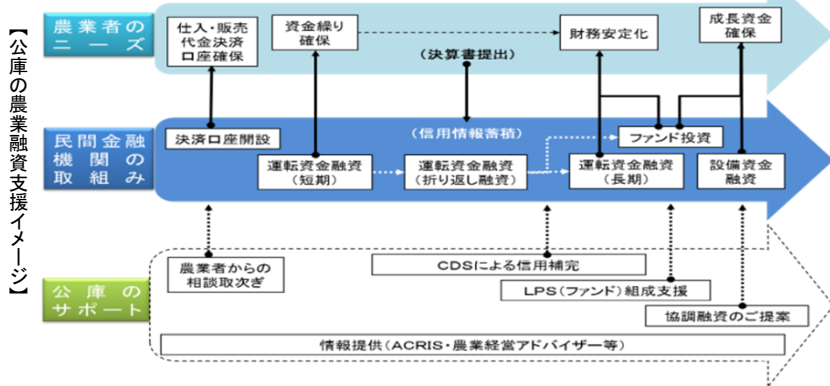
(2) セミナーの内容

○農業をめぐる状況について(農林水産省金融調整課)

- ・農家一戸当たりの経営耕地面積の推移(規模拡大)
- ・農業法人の経営体数(10年間で2倍、4割が6次産業化に取り組む)
- ・農業・食料関連産業の高い潜在力(国内生産額は約100兆円)等

○公庫融資等について(日本政策金融公庫(農林水産事業))

- ・金融支援(委託貸付、制度金融、信用補完(CDS)、投資ファンド(LPS))
- ・金融支援以外のサポートツール(農業経営アドバイザー制度、農業信用リスク情報サービス(ACRIS)、ビジネスマッチング)等



2. これまでの取組の成果等

【開催実績】(会場は本局・各財務事務所会議室)

- 千葉県:平成29年2月6日(参加金融機関 11機関16名)
 - 栃木県: 29年2月9日(参加金融機関 10機関18名)
 - 埼玉県: 29年2月17日(参加金融機関 8機関11名)
 - 茨城県: 29年2月22日(参加金融機関 5機関10名)
- 地銀・信金・信組の農業融資担当者 計34機関55名



参加者の声(事後アンケート)

参加者の9割超が(大いに)役立ったという感想であり、主な声は以下のとおり。

- 新たな分野拡大が期待できた。農家の人と共に課題を見つけて、解決する提案ができるきっかけとなるセミナーであった。
- 農業融資を検討したい。「農業融資目利き講座」等勉強会を金庫内で開催したいので、別に講師派遣をお願いしたい。
- 現状、ノウハウがないので、各金融機関の具体的な取り組み事例を聞きたい。

今回のセミナーでは、日本政策金融公庫と個々の金融機関という1対1の関係から、農業政策を担う農林水産省、日本政策金融公庫(地元支店を含む)及び各地の地域金融機関の農業融資担当者が一堂に会し、お互いの顔が見えたことによって、今後の人的・面的な広がりが期待されるほか、農業融資に向けた知識の醸成に貢献できたと思われる。

3. 今後の課題と関東財務局等の対応

＜今後の課題＞

- 具体的な取り組み事例を紹介する時間が短かったので、事後アンケート結果も踏まえ、「先進的な取り組み事例」を別枠で組み入れた深度あるセミナーを開催。

＜関東財務局の今後の対応＞

- 農林水産省及び日本政策金融公庫と更に連携を図り、当セミナー未開催地域への展開に取り組む。